

【定義】

移行元・・・現在使用している QND サーバ PC

移行先・・・新たに設定する 64 ビット OS の QND サーバ PC

【注意事項】

本文書は、QAW Ver.3.1 SP1～Ver.3.5 SP1 から QAW Ver.3.5 SP1 へ、QND Ver.9.1 SP1～Ver.9.5 SP1 から QND Ver.9.5 SP1 へ、バージョンアップする際の手順となります。

QAW Ver.2.7SP2 / QND Ver.8.7 SP2 をご利用の場合は、一旦 QAW Ver.3.1 SP1/QND Ver.9.1 SP1 にバージョンアップしてください。

※64 ビット OS にはコンソールがインストール出来ません。

そのため、別途コンソール PC を構築して頂くか、既存のコンソール PC にてコンソールのバージョンアップが必要となります。

【移行手順】

(1)データのバックアップ

(1-1)移行元マスターサーバのサービス「Application Integrate Server」を停止してください。

(1-2)移行元マスターサーバの「QNDPlus」フォルダ、「ApInServ¥dirsrv¥db」フォルダのバックアップを実施してください。

QNDPlus・・・デフォルトは C:¥Program Files¥QNDPlus

ApInServ¥dirsrv¥db・・・デフォルトは%WinDir%¥ApInServ¥dirsrv¥db

※NetSkipper をご利用のお客様は、%WinDir%¥ApInServ 下の NetSkipper フォルダをバックアップしてください。

(1-3)以下の(A)～(F)は QNDPlus フォルダ配下に設定されていればバックアップは不要ですが、設定パスの変更が可能なため、QNDPlus フォルダ配下でないものについては必要なものを判断し、別途バックアップしてください。

※これらの設定はあくまで現状のものだけですので、以前に別のディレクトリを指定されていた場合は別途お調べの上、必要に応じてバックアップしてください。

- (A)[サーバ固有の設定]エージェントの「QND エージェントを共有するディレクトリ」の設定パス
- (B)[サーバ固有の設定]インベントリの「保存用 QND インベントリ ディレクトリ」の設定パス
- (C)[サーバ固有の設定]サーバログの「ディレクトリ名」の設定パス
- (D)[サーバ固有の設定]タスクログの「タスクログ移動先ディレクトリ」の設定パス
- (E)[サーバ固有の設定]CSV 設定の「CSV ファイル保存用ディレクトリ名」の設定パス
- (F)[サーバ固有の設定]外部 DB 設定の「CSV ファイル保存用ディレクトリ名」の設定パス

(1-4)以下の(G)、(H)のレジストリ、(I)、(J)のファイル、フォルダに関しましても、必要な場合別途バックアップしてください。

レジストリについては、レジストリエディタにてエクスポートし、そのファイルをバックアップしてください。

(G)“HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Quality¥QIV”以下

※QIV の設定情報を引き継がせる場合にこちらの情報をバックアップしてください。

(H)“HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Quality¥QND¥3”以下

※インベントリデータベースの利用有無を引き継がせる場合にこちらの情報をバックアップしてください。

ただし、こちらのレジストリをバックアップして頂いた後、出力された「*.reg」ファイルより「ID」、

「Licence」、「Serial」、「ServerDirectory」、「ServerDistributeDirectory」、

「ServerInventoryDirectory」、「ServerRunMode」のレジストリ項目を削除してください。

削除せずに新しい QND サーバにインポートした場合は正常に動作しなくなる恐れがあります。

(I)QIVSRV.CONF ファイル

※デフォルトは「C:¥Program files¥QNDPlus¥QIV¥QIVSRV.CONF」になります。

※QIV の設定情報を引き継がせる場合にこちらの情報をバックアップしてください。

(J)「QIV¥CONDAT¥Reports¥etc」フォルダ

※デフォルトは「C:¥Program files¥QNDPlus¥QIV¥CONDAT¥Reports¥etc」になります。

※移行元 QIV コンソールの設定を、32 ビット OS のコンソール PC へ移動する場合は、こちらの情報をバックアップしてください。

(2)バックアップしたデータのリストア

(2-1)移行先に対し、手順(1-2)(1-3)(1-4)にてバックアップされた情報を保存してください。

【注意】

※リストアするパスは移行元と同一にしてください。

※バックアップした reg ファイルを 64 ビット OS 上でダブルクリックしますと、64 ビット版のレジストリエディタが起動し設定の復元が出来ません。32 ビット版のレジストリエディタにてインポートください。

32 ビット版レジストリエディタはデフォルトで以下のフォルダに存在します。

“C:\Windows\SysWOW64\regedit.exe”

(3)サーバの新規インストール

(3-1)移行先に QND サーバを新規インストールしてください。

必ず手順(2)で保存した場所を指定してください。

※64 ビット OS の為、QND サーバのインストーラは「SETUP_x64.EXE」を実行してください。

※64 ビット OS の為、移行先にコンソールはインストール出来ません。

そのため、別途コンソール PC を構築して頂くか、既存のコンソール PC にてコンソールのバージョンアップをおこなってください。

(4)QIV 設定情報の復旧

※QIV の設定情報を復元する場合

(4-1) 移行先マスターサーバのサービス「Application Integrate Server」を停止してください。

(4-2)手順(1-4)の(I)にてバックアップした「QIVSRV.CONF」を移行先マスターサーバにリプレースしてください。

(4-3) 移行先マスターサーバのサービス「Application Integrate Server」を起動してください。

(5)コンソールのバージョンアップ

(5-1)コンソール機にインストールされている各種コンソールをバージョンアップしてください。

(5-2)移行元 QIV コンソールの設定情報を復元する場合、手順(1-4)の(J)でバックアップしたフォルダをバージョンアップ後のフォルダに上書きしてください。

(6)設定変更

(6-1)移行先のコンピュータ名、IP アドレスが変更されている場合、移行先マスターサーバの QAW/QND コンソールを開き[サーバ固有の設定]サーバ管理の「QND サーバの名称」、「QND サーバの IP アドレス」を移行先の情報に変更してください。

(7)スレーブサーバ(32 ビット版)のバージョンアップ (スレーブサーバが存在する場合のみ)

(7-1)スレーブサーバ(32 ビット版)をバージョンアップしてください。

(8)スレーブサーバ(64 ビット版)へのバージョンアップを伴う移行 (スレーブサーバが存在する場合のみ)

(8-1)手順(1)“データのバックアップ”の手順に従って、移行元スレーブサーバのデータをバックアップして下さい。

※スレーブサーバには QIV が無い為、QIV に関するデータのバックアップは必要ありません。

(8-2)移行先に対し、手順(8-1)にてバックアップされた情報を保存してください。

【注意】

※リストアするパスは移行元と同一にしてください。

※バックアップした reg ファイルを 64 ビット OS 上でダブルクリックしますと、64 ビット版のレジストリエディタが起動し設定の復元が出来ません。32 ビット版のレジストリエディタにてインポートください。

32 ビット版レジストリエディタはデフォルトで以下のフォルダに存在します。

“C:¥Windows¥SysWOW64¥regedit.exe”

(8-3)移行先にスレーブサーバを新規インストールしてください。

必ず手順(8-2)で保存した場所を指定してください。

(8-4)移行先のコンピュータ名、IP アドレスが変更されている場合、移行先スレーブサーバの QAW/QND コンソールを開き[サーバ固有の設定]サーバ管理の「QND サーバの名称」、「QND サーバの IP アドレス」を移行先の情報に変更してください。

(8-5)新規スレーブサーバの「Application Integrate Server」サービスを再起動してください。

(8-6)QND マスターサーバに接続したコンソールの「Slave Servers」グループに移行先スレーブサーバの情報が登録されていることを確認し、「同期:ファイル等」を実行してください。

また、この時点で移行元スレーブサーバが「Slave Servers」グループに残っている場合、その情報を削除してください。

(9)ホストのバージョンアップ

(9-1)各ホストをバージョンアップしてください。

QP オプションがインストールされているホストへはスケジュールで、「スケジュールの追加・設定」画面の上部にある「エージェントが接続するサーバ名」を新しいサーバ名に変更し、その下にある「このサーバをデフォルトサーバにする」にチェックを入れ実行してください。

こちらの作業をすることで各ホストのマスターサーバへの接続先を更新します。

※PUSH 実行できないホストへはQNDエージェントを作成し直したものを共有フォルダにコピー、または配布し、ホスト側で実行してください。

以上